

## 研究タイトル：社会文化的アプローチから考える 英語学習指導法の調査研究



氏名：	菅野 雅代/KANNO Masayo	E-mail：	mkanno@sendai-nct.ac.jp
職名：	特命准教授	学位：	修士(応用言語学)
所属学会・協会：	全国高等専門学校英語教育学会, 全国語学教育学会, 大学英語教育学会		
研究分野：	教育学, 言語学		
キーワード：	言語教師認知, 学習者ディベロップメント, 社会文化理論, 英語教材開発		
技術相談	・各種英語技能試験(TOEIC, 英検など)の学習指導		
提供可能技術：	・英文ライティング及び英会話指導    ・定性的研究に関するアドバイス		

教育学  
応用言語学

### 研究内容：

#### ●英語教育における教師認知と感情制御プロセス

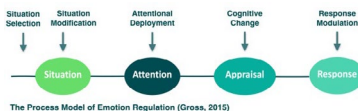
【1】 Aims and Practices of EFL Education: ジョブクラフティングの観点からの調査研究  
2020-2021 年度 科学研究費補助金採択課題 (20K22262)

高等教育機関における英語教育は、学習者の意欲や習熟度が多様であり、一律に知識や技能を伝達するという指導法だけでは限界があります。本研究はジョブクラフティング(仕事内容の再設計)という観点から、英語教員が日々おこなっている授業構築について調査しました。主題分析の結果、教室内の社会的、文化的環境に配慮した教育活動を模索する際にみられるいくつかの認知的要素が示されました。最終的な結果をまとめて論文を執筆中です。

#### 【2】 Potential Power of Emotion: 感情制御と集団力学との相互作用について

2022-2026 年度 科学研究費補助金採択課題 (22K00704)

課題【1】の分析過程において感情が教師認知や授業運営に大きく関与していることが示唆されたため、その領域をさらに追求しています。熟達教師に焦点を絞り、どのような感情制御プロセスが教師認知に影響を及ぼしているのか、どのように集団力学(グループダイナミクス)を活用しているのか、実践的知識を調査しています。その知見から教師の熟達化に必要な理論的要素を抽出できないか研究しています。



#### ●学習者ディベロップメント

学習者アイデンティティや行為主体性の研究を通じて、英語学習者の

学習意欲の変遷を調査しています。これまでの研究結果から、自らの将来像や教室内外の社会文化的要素が学習意欲に大きく影響することがわかりました。現在、仙台高専生が英語を学習する際の動機付けや自己認識を深求するアンケート調査を準備中です。結果は統計的に分析し、より効果的な授業内容を策定する際に活用する予定です。

#### ●英語学習教材の開発

大学英語授業で使用される教科書を共同制作しました。協働学習を通じて英語4技能の向上をめざしながら、英検や TOEIC など各種試験に類出の場面で使用されるコア表現を学ぶ教材です。また、読書学習サポートを目的とした、仙台高専のオンライン英語学習システムの開発にも携わっています。



### 提供可能な設備・機器：

#### 名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)